

平成 22 年度 事業報告書

兵庫保育園

1. <法人ビジョン>

- ①経営の強化
- ②サービスの質の向上
- ③教育システムの充実

2. <基本方針>

- ①今までの保育を継承することを基本とし、子どもや保護者との信頼関係を築く。
- ②子どもの様子や保護者の要望に応じて無理のないように進めていく。

3. <22年度重点目標>

◎スムーズに移管する

①子どもや保護者との信頼関係を深める

→子どもの気持ちを汲み取り、寄り添った保育を進めてきた。保護者には、毎日、あるいは、運営委員会を通してたくさん話をするようにした。

②地域交流を通して、兵庫保育園を知っていただく。

→昨年同様、地域交流を行い、交流を深め、信頼関係を築いた。

4. <新規事業>

- ・延長保育を 18:00～18:30 から 18:00～19:00 までの 1 時間延長保育にした。
- ・日割り延長保育を導入した。
- ・プールを新しく購入し、使用期間を 8 月末日までに延長した。
- ・お泊まり保育（しあわせの村）を行った。
- ・卒園記念品のプレゼントをした。
- ・顔写真入りの卒園証書を作成した。
- ・卒園児に手作りお菓子のプレゼントをした。

5. <職員研修>

- ・職員の資質向上のため、職員会議毎に研修・伝達講習を行った。
- ・11月に、大阪府立大学準教授関川芳孝氏・聖和短期大学準教授波田埜英治氏によるコンプライアンス研修を受けた。
- ・12月12日に、大慈保育園と合同で職員一日保育研修を行った
- ・私保連・市社協の研修に意欲的に参加した。

6. <広報>

- ・保護者に、職員紹介ニュースを発行し職員との交流を深めた。
- ・写真ニュースを作成し、掲示板に貼り、保育を知っていただくようにした。
- ・園だよりなど、地域に配布し、兵庫保育園を知っていただいた。

7. <<会議>>

- ・月1回 職員会議・給食会議
- ・月2回以上 リーダー会議

8. <<災害・防犯避難訓練>>

- ・毎月1回 避難訓練を行った
- ・毎月1回 防犯避難訓練を行った。
- ・年1回 兵庫消防署・兵庫警察による訓練を行った。
- ・消火器・火災報知機・消防署ホットラインの点検整備を行った。

9. <<健康診断・衛生>>

内容	実地日(回数)	業者等
健康診断	4月・11月	ミナト診療所
眼科健診	6月・2月	藤澤眼科医
歯科健診	6月・2月	広瀬歯科医院
耳鼻科健診	6月・2月	中村耳鼻科医院
ぎょう虫検査	6月	兵庫県予防医学協会
尿検査	1月	兵庫県予防医学協会
調理室の消毒	月1回	サニックス株式会社
樹木消毒	年2回	植与造園

10. <<行事内容>>

月	行事名
4月	入園式
5月	親子の集い ひばり学園・デイサービス・御崎保育所との交流
6月	食育フェア はみがき指導
7月	七夕祭り プール開き 夏祭り プラネタリウム見学
9月	デイサービスセンター交流
10月	運動会 お泊り保育 いもほり遠足 交通安全教室 区老連ふれあい会
11月	焼きいも大会 秋の遠足 大慈保育園との交流 消防署による消防訓練
12月	音楽会 クリスマス会 おもちつき デイサービスセンター交流
1月	よいこの集い デイサービスセンター交流
2月	豆まき 生活発表会 ひばり学園との交流
3月	お別れ会 お楽しみ会 卒園式 大慈保育園・デイサービスとの交流

11. <<月間行事>>

お誕生児紹介(月1回) 身体測定

12. <<運営委委員会>>

月1回 神戸市・保護者・保育園・フォロー職員による話し合いを行った。
保育の様子・子どもの姿を伝えたり、新規事業・改修工事などの確認を行った。

13. <<保育環境整備>>

- ・厨房機器一式取りそろえた。
- ・乳児保育室(0歳児～2歳児)の床暖房設置

- ・セキュリティドアの設置
- ・フェンスのかさ上げ
- ・玄関スロープの設置
- ・プール購入
- ・砂場の砂入れ替え
- ・午睡用布団購入
- ・木製机・木製イス購入
- ・楽器（大太鼓・小太鼓・シンバル・電子ピアノ）購入
- ・木製玩具購入
- ・絵本、紙芝居購入
- ・食器一式購入

13. 《平成 22 年度在籍児一覧表》

	0 歳児	1 歳児	2 歳児	3 歳児	4 歳児	5 歳児	合計	充足率 (%)
4 月	7	14	15	17	19	16	88	90
5 月	7	14	15	18	19	18	91	100
6 月	7	14	15	18	19	18	91	100
7 月	7	14	15	18	19	18	91	100
8 月	7	14	15	18	19	18	91	100
9 月	7	14	15	18	17	17	88	90
10 月	7	14	15	19	16	18	89	90
11 月	7	14	15	19	16	18	89	90
12 月	7	14	15	19	16	18	89	90
1 月	7	14	15	19	16	18	89	90
2 月	7	13	15	19	16	18	88	90
3 月	7	13	15	19	16	18	88	90
合計	84	166	180	221	208	213	1072	93

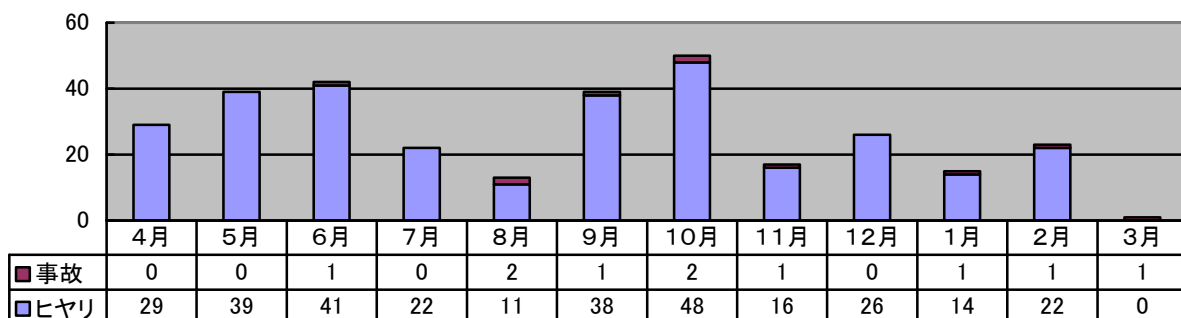
14. 《リスクマネジメント報告》

※医師の診察を受けた怪我を事故と定義する。

※医師、看護師が常駐していないため、診察を受け医師の判断を仰いだ。

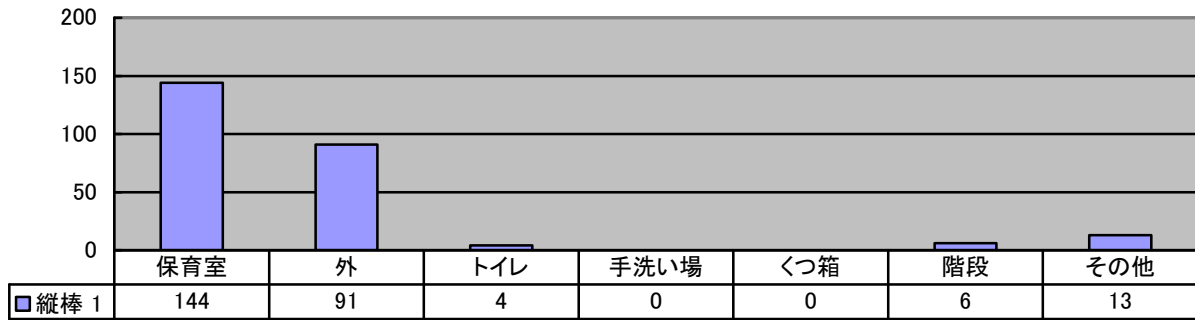
①提出件数:315 件(事故 10 件、ドキドキ 305 件)

→10 月が多いのは、運動会も経験し、活動が活発になったと考えられる。



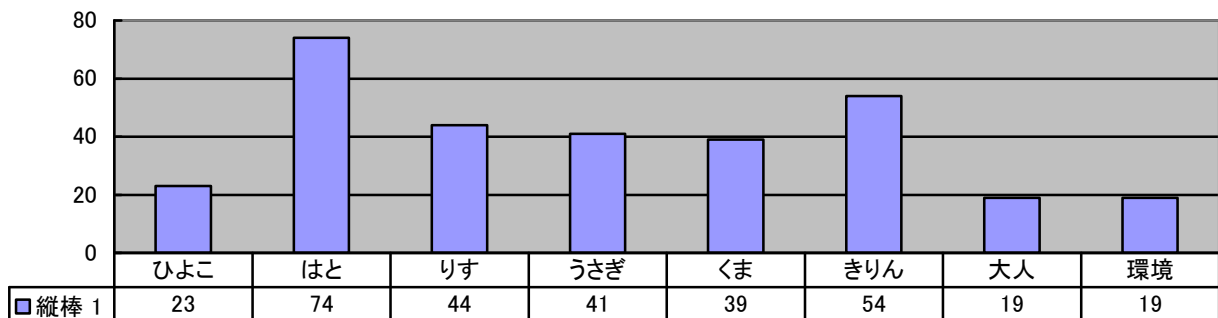
②発生場所別件数(ヒヤリハットのみの件数。事故は集計なし)

→保育室が多いのは、保育室で保育をしている時間が長いからである。



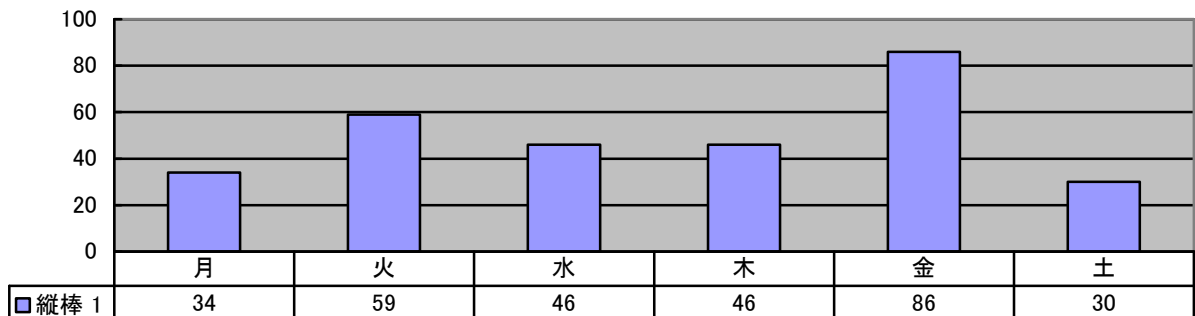
③発生クラス別件数(ヒヤリハットのみの件数。事故は集計なし)

→1歳児は、発達に合わせて、活動が活発になり、行動範囲が広がったと考えられる。



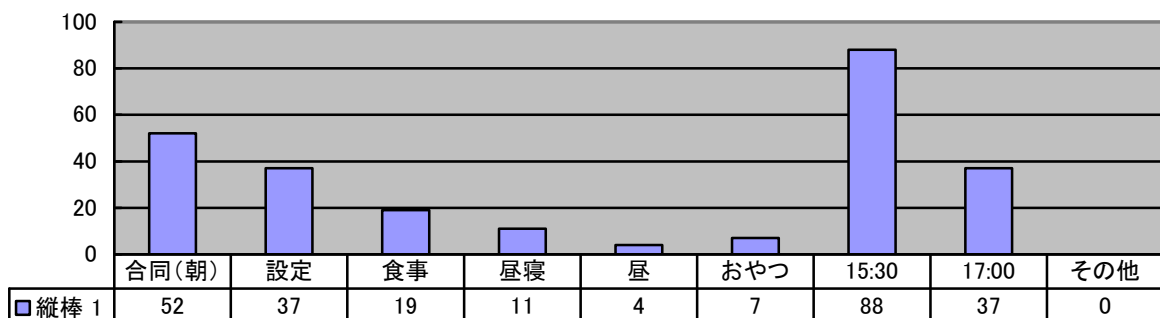
④曜日別件数(ヒヤリハットのみの件数。事故は集計なし)

→金曜日になると疲れがたまり、注意力が低下するため多いと考えられる。



⑤時間帯別件数(ヒヤリハットのみの件数。事故は集計なし)

→15:30以降は、異年齢児の関わりが多い時間帯であり、危険が高まると考えられる。



⑥事故発生内容

→大人によるものは環境整備の不備や除去のある子どもへの確認不足が原因である。子どもによるものは、ひっかく・打つ・かむ・ぶつかるが多く、よく怪我をする子どものタイプが

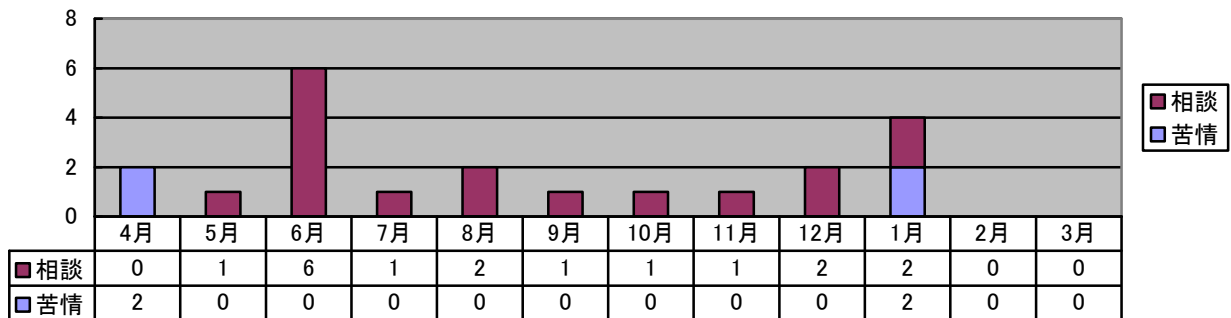
あることが考えられる。

月日	曜日	時間	年齢	男女	ケガの箇所	ケガの起こった状態
6月11日	金	16:10	3歳児	男児	右肘	他児が持っていた棒で肘を切った。傷は深いものではなかったが、関節で、よく動かす場所のため、2針縫った。
8月3日	火	16:40	2歳児	女児	右頬	他児に強く噛まれる。
8月9日	月	16:40	3歳児	女児	鼻	鼻を打ち、鼻血がでた。
9月2日	木	12:20	3歳児	男児	目	他児が持っていたブロックが、目に当たり、充血していた。
10月29日	金	16:10	4歳児	女児	額	棚の角で打った。
10月20日	金	15:30	0歳児	女児	右眉	こけて地面で打つ。
11月9日	火	10:20	1歳児	女児	下唇	外側を切った。
1月17日	月	9:30	5歳児	女児	右肩	抜けたと思い病院に行ったが、抜けていなかった。
2月5日	土	10:05	5歳児	男児	高熱	ぜんそくが出ていたら病院に行つて欲しいと母親から言われていた。ぜんそくは吸入してもらい落ち着く。高熱はインフルエンザの疑いだった。
3月14日	月	11:50	1歳児	男児	右手親指	とげが刺さった。

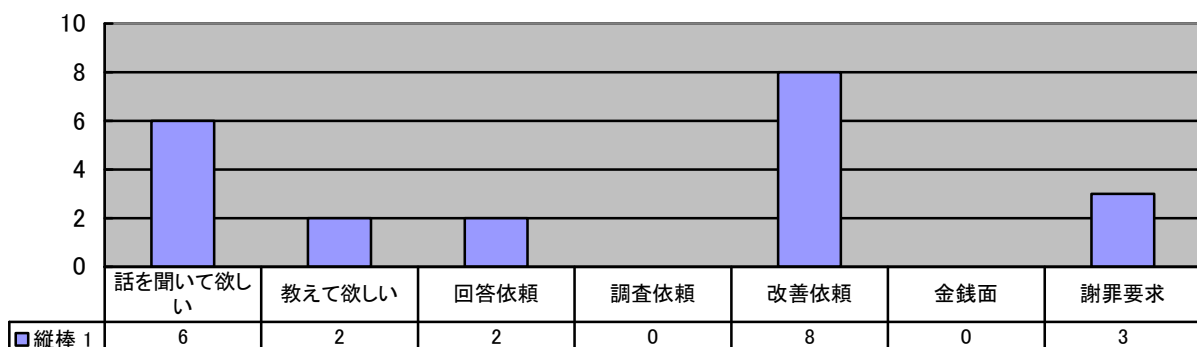
15. << 苦情・相談結果報告 >>

苦情の定義→施設長が直接対応した件を苦情とする。

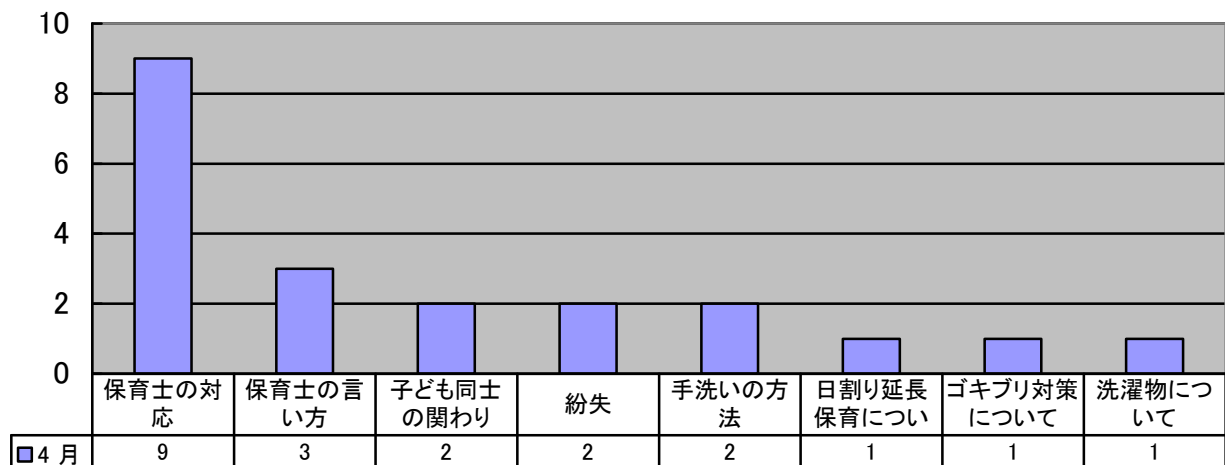
○報告件数…… 21件(内苦情4件)



○要望分類



○主な内容



○まとめ

→現状をよく確認し、その日の内に保護者と話し合いをもち、納得や理解をしていただいた。

16. <<総括>>

民間移管を受けて、神戸市フォロー職員より引き継ぎが行われる中、トラブルもあったが、各関係機関の皆様のご支援のお蔭で、その後は、スムーズに進むことができ、大きな事故やトラブルもなく、無事一年を終えることができた。

神戸市より、保育園について保護者アンケートの調査が行われたが、結果は、回収率93.2%でどの項目も概ね満足しているということで、「毎日とても楽しく通えているようで、親としてすごく喜んでいる」という意見を多数の方から頂き、神戸市の方たちからも「民間移管をした中で、この保育園が一番落ち着いている」とのことをお聞きし、よりよい保育をしていくことの励みとなった。

今後も子どもの幸せを願い、ひとりひとりの子どもに愛情をもって大切に保育していくことを心掛けていきたい。年間行事については、運動会でのテントはとても配慮がなされると喜ばれ、内容についても運動会・生活発表会・卒園式とも、感動したと好評を得た。保護者から強い要望を受け、5歳児のお泊まり保育を始めた。これも大変喜んでいただいた。

地域交流事業として、障害者施設や高齢者施設、近隣保育所との交流を通して、ごく自然に関りができた。また、公民館の活動の一環である在宅児への支援事業にも参加させていただき、兵庫保育園のアピールもできた。

これからも、温かみのある保育をし、より地域のみなさまより必要とされる保育園になっていくよう努力したい。また、地域の子育て支援にも積極的に取り組んでいきたい。

環境整備も積極的に行い、選んでいただける保育園になるよう努めていきたい。